

学校関係者評価報告書

東海医療工学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療工学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和6年学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。

I 令和7年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和7年11月25日～12月15日

2. 会 場

書面会議

3. 議 事

- (1) 委員長の選任
- (2) 令和6年度の自己評価結果について

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 学校関係者評価委員

氏名	所属 職名等	構成
野々垣 常正	東海歯科医療専門学校	学識経験者
江森 達輝	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	病院・施設
小木曾 葵	学校法人セムイ学園	卒業生

(2) 評価担当教職員一覧

氏名	所属・職名
小足 有紀	東海医療工学専門学校 校長
大野 健二	東海医療工学専門学校 救急救命科 学科長
太田 晃二	学校法人セムイ学園 法人本部 総務部長

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

評価項目	学校関係者評価委員の意見、提言及び評価
基準 1 「教育理念・目的」	特になし
基準 2 「学校運営」	①課題：2-6：教員研修の受講は、大変重要で絶えずアップグレードする必要性はある（救命士養成では日進月歩である）が、日頃の学生への教育もあることから難しいが、休日などの時間外の研修に参加し、教員間の知識共有も大事である。休日出張などの手当ても必要である。また、学生へのフィードバックも積極的に必要であり、学生への内容の周知も必要である。
基準 3 「教育活動」	内容に関し特に修正すべき点はないと思いますが、病院実習について院内救命士が増え、医療機関にとって救命士がより身近な存在になったことにより今後より一層力を入れていく必要性を感じます。 特に当院では実習中の態度、様子は採用においてかなり重視しております。
基準 4 「学修成果・教育成果」	卒業生の就職後の動向の把握について もちろん任意にはなるが、アプリを用いて把握していくのはいかがでしょうか。現状そういったアプリがあるか不明ですが 今後学園側で作成するのも1つの手ではないかと考えます。
基準 5 「学生支援」	学生便覧 P26 より)実習先医療機関へは原則、公共交通機関を利用するとありますが、毎年何人かは病院先の方から「車で来なよ！」とお誘いがあり、自家用車で通う学生がいます。なので、最初から車で行きたい学生はあらかじめ教員と病院先の許しを得て、自家用車も可とするのはどうでしょうか。家から遠い学生はその方が朝の時間も余裕がもてると思います。
基準 6 「教育環境」	救急車カットモデルについて 私が在学中はあまり活用されることがなかった印象であるが、シュミレーション 時の車内収容後の活動を実際に車内でやることにより狭い車内での活動を体感できるリアルなシュミレーションになるのではないかと思います。
基準 7 「学生の受入れ募集」	提案なのですが、面接を1対1や1対3(教員)などにして、精神的不安や持病の観点も面接してみるのはどうでしょうか。入学してからこちらの配慮や本人の最終的な意思や覚悟も確認事項にいれるのはどうでしょうか。
基準 8 「教育の内部質保証システム」	①救命士養成では、特に実習などで学生との関わりが多く、個人情報セキュリティ関連の意識向上は必要で、随時個別指導に当たっては、オープンであることが求められるため、指導に当たっては学生に許可をもらって録画する必要がある。また、内部監査員は、できれば第三者委員が望ましい。学生からの目安箱設置も無記名で月1回程度内部監査委員長が開封し、適切に対応してはどうか。 ②文章の検討：eラーニングを行い、講習会参加者から報告書の作成をしてもらい、全体的なりテラシー向上に努めていく。

<p>基準 9 「財務」</p>	<p>18歳人口が減ってきている状況から、経費削減は必要である。 ノートパソコンを使って、授業の資料をpdf等で配布している学校も多い (可能な科目であれば非常勤と相談)。教材に使う機器は貸与か買ってもらうかは検討が必要である(OSが入学時と卒業時で異なる可能性もあるなど)が、高校から使用してきた学生は多いので、前向きに検討したらどうか。</p>
<p>基準 10 「社会貢献・ 地域貢献」</p>	<p>特に気になる点はないです。 それぞれの学科の特徴を活かし、近すぎず遠すぎずのちょうど良い距離感で 関わっていて素晴らしいと思います。 強いて言えば施設だけではなく一般家庭の方々向けの講習や関わりも増やす と更に救命処置や病人との関わり方が浸透するのではないかなと思います。</p>

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署において、改善策を検討するものとする。